



新ツール導入で預かり資産のポートフォリオ提案を強化

京都銀行（頭取 安井 幹也）は、営業担当者によるお客さまの資産形成サポートを強化するため、2024年7月17日（水）から、新たなポートフォリオ提案ツールを導入しますのでお知らせいたします。なお、本ツールは、株式会社 QUICKと共同で開発したものです。

本ツールでは、お客さまが当行や京銀証券等にお持ちの円預金、外貨預金、公共債、投資信託、保険、外債、株式といった全ての運用資産を一元的に可視化し、タブレット端末などでお客さまにご覧いただきながらポートフォリオ提案を行うことができます。

さらに今後、お客さまの運用イメージに合うモデルポートフォリオ提案の機能や、老後資金や住宅購入等目標金額の実現に向けた運用提案の機能、ツール内で提案した商品を行内の他システムに連携し約定する機能なども追加予定です。

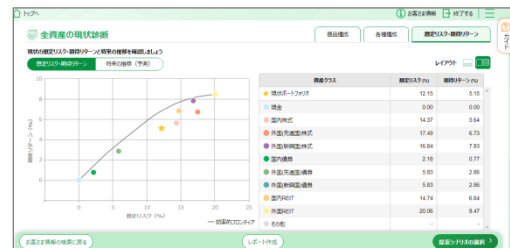
当行では、今後もお客さまのニーズにお応えできるよう、グループを上げて質の高い金融サービスやコンサルティングを提供してまいります。

記

1. 新ツールの概要

(1) 保有金融資産の分類・分析、現状把握

当行やグループ会社の京銀証券にお持ちの保有金融商品（円預金、外貨預金、公共債、投資信託、保険、金融商品仲介業務の取り扱い商品）を資産別、地域別に分類・分析し、保有金融資産全体のリスク・リターンについて、現状把握を容易にします。また、ご要望に応じ、お客さまが他社で保有する金融商品についても併せて現状把握することが可能です。



(2) 今後展開予定の機能

- お客さまの運用イメージに合うモデルポートフォリオ提案
- 老後資金や住宅購入等目標（ゴール）金額の実現に向けたポートフォリオ提案
- ツール内で提案した商品を行内の他システムに連携し約定する機能（ほか）



2. 取扱開始日

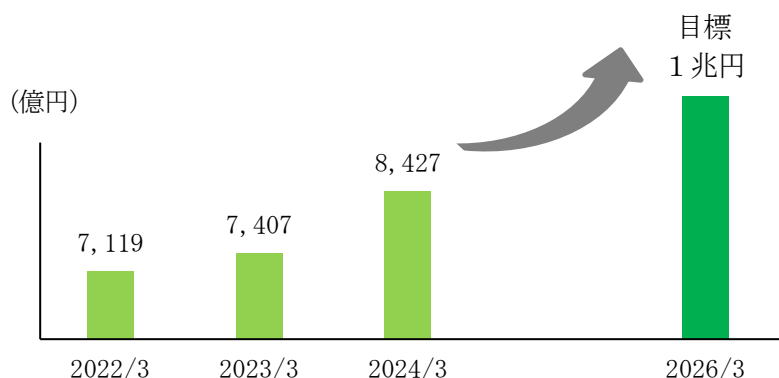
2024年7月17日（水）

以上

<ご参考>

1. グループ預かり資産残高（京都銀行および京銀証券）の推移

今中計期間（2023年4月～2026年3月）最終年度末残高1兆円に向け取り組んでおります。



2. 「株式会社 QUICK」会社概要

代表者	代表取締役社長 高見 信三
所在地	東京都中央区日本橋兜町7番1号 KABUTO ONE
設立	1971年10月1日
資本金	6億6000万円
事業内容	日本経済新聞社グループの金融情報サービス会社として、世界の証券・金融情報をはじめ、政治・経済情報をリアルタイムで配信。資産運用支援、注文執行業務の支援、情報ネットワーク構築支援サービスなど、証券・金融市場に関連する総合的なソリューションを提供。

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。

